

| | | |
|-----------|-----------------|---|
| 法人（事業所）理念 | | “いつも子どもに寄り添って”をコンセプトに地域に根付いた法人を常に目指し、子どもたちのよりよい未来を拓いていくことができるよう専心努力しています。小児科を中心に、児童発達支援センター・放課後等デイサービス（4施設）が連携し、医療と福祉の両面からお子様の成長をサポートします。 |
| 支援方針 | | 小集団の中で、感覚遊び、認知系課題、運動遊び、制作活動等を行い、遊びの中で楽しみながら“できた”経験を重ね、ことばや人との関わりを育んでいきます。お子様の好きなことや得意なことを見つけ、それを喜び合う「共感」からアプローチを始め、ご家庭と二人三脚で取り組んでいきたいと考えています。 |
| 営業時間 | | 8：30～17：30 |
| | | 送迎実施の有無 |
| | | 無 |
| 支援内容 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 来所時や降所時の準備（手洗い・荷物の片づけ）等を自分で行き、日常生活への汎化へ繋がります。 食事・排泄等の基本的な生活の習慣が身に着けられるようにご家庭と連携して支援を行います。 |
| | 運動・感覚 | 様々な運動遊び、感触遊びや親子あそびを通じ、必要な感覚刺激が十分に得られる活動設定を行います。 粗大運動（サーキット等）や微細運動（制作等）を通して楽しみながら経験を重ね、基本的な運動能力の向上へ繋がります。 |
| | 認知・行動 | 様々な課題を通して、時間やルールを意識することを身に付けていけるように支援していきます。 制作やクッキング等を通して完成をイメージしたり、手順に添って取り組みながらできた経験を積み重ねることで自身の向上へと繋がります。 個々に合わせて助言や視覚的援助といった手がかり提示を行い、集団の中で達成感を感じながら持てる力を発揮できるよう支援します。 |
| | 言語 コミュニケーション | 簡単な動作やことばで気持ちを伝える場面を設け、必要に応じて職員が言語化して一緒に伝える等、コミュニケーション力の向上に繋がります。 友だちとの相談や発表する等の課題を通して、自分の思いを伝える経験を積み重ね、コミュニケーション力の向上へと繋がります。 必要に応じて職員が仲介することで、相互的な関わりを学んでいけるよう支援します。 |
| | 人間関係・社会性 | 課題を通してルールや順番を意識しながら、協調した関わりが持てるように支援します。 子どもとの信頼関係を育み、思いや不安に寄り添いながら周囲の人と安定した関係を築いていけるように支援を行います。 |
| 家族支援 | | 親子通園を基本とし、お子様の成長をともに見守ります。必要に応じて個別的な面談を設け、困りごとへの相談援助を行います。 |
| 移行支援 | | ご家族の意向確認や状況共有を行いながら、併用通園先やその他、移行先でスムーズに過ごせるように各関係機関との連携を図り、調整を行います。 |
| 地域支援・地域連携 | | 相談支援事業所、関係機関との連携を行っていきます。 地域の事業所、保育所等からの見学受け入れ、研修や保育所等訪問支援等を実施する中で、地域の支援力向上に寄与します。 |
| 職員の質の向上 | | 内部研修や外部研修を定期的に行い、法人全体で周知を行います。 ペアレントトレーニング等の研修に参加し、職員のスキルアップに努めます。 |
| 主な行事等 | | ・夏祭り（ゲーム・屋台などを設定し、きょうだい児や保護者と参加） ・クリスマス会（ゲーム・クッキング活動の実施） ・避難訓練等 |

事業所名 児童発達支援センターピノキオの家

支援プログラム

作成日 R6年12月1日